

『すなおで かしく たのしく』  
～人間性豊かでたのしい子～

## つじどう小だより

2025年7月8日

藤沢市立辻堂小学校

校長 納富 崇典

## 1学期を振り返って

7月に入り、暑さが増してきましたが、子ども達は、暑さの中でも毎日元気に過ごしています。振り返ると、4月は新しい生活に慣れようとする姿がどの学年の子にも見られました。1学期は72日ではありますが新しい学級のルールに慣れ、毎日の授業、遠足等宿泊行事、水泳学習、健康診断、避難訓練、実験観察、漢字練習、音読等、日々経験を積み重ねました。下校時、帰りを見送っていると、元気に挨拶しながら帰っていく姿は、4月の姿とは異なる、その学年らしい立派な姿です。まず72日よく頑張りました。また、保護者の皆様につきましても、忙しい中でも学校の話しを聞いていただいたり、ボランティアをしていただいたり、毎日の食事や学習の準備と、お子様、学校を支えていただきありがとうございました。



## 夏休み ～ 学校外の真剣な姿 ～

先日、放課後の体育館をのぞくと、バレーボールのジュニアチームが練習していました。声を出し、集中して練習に取り組んでいます。私を見つけるとしっかり挨拶もできます。低学年の子ども達も、学校では見ないような凛々しきで、ちょっとカッコいいのです。私も長年、少年サッカーのコーチをやっていましたが、夏は練習、合宿、遠征と多くの時間を子ども達と過ごしました。改めて体育館やグラウンドで汗を流して練習する子ども達をみると、「その調子だ、がんばれ」と応援したくなります。夏休みはスポーツ活動だけではなく、ピアノや書道、塾等の習い事など、それぞれの志向で努力を積み重ねる時間でもあると思います。子ども達が夏を越えて、たくましくなるのは、全力で打ち込み、心も体も鍛えられるからにちがいません。熱中症に気を付け、暑い夏をのりきっていくことを願っています。2学期に子ども達に会ったときには「夏の頑張り」についてインタビューしてみたいと思います。

## ～ 安全な夏休みを ～

青少年育成協力会の情報交換会で藤沢警察署の方から「夏休みに向けて～子供が巻き込まれてしまうトラブルについて～」という講演を聞く機会がありました。印象に残ったのは次のことです

- ・流れがある川、海には子どもだけでは入らない。水辺では必ず救命胴衣をつける。
- ・防犯上、1人で人通りのない所にいることが危ない。2人であることで事件に巻き込まれる確率は下がる。

- ・SNSのトラブルが増加している。チャットやゲームで知り合った人を優しいと感じると、会うところまで発展し、だんだん行く先がわからない外出が増え、隠し事が増えてくる。

夏休み前に「安全で楽しい夏休みにしましょう」という児童指導の文書を配付します。改めて家庭で話す機会をもちましょう。



【講師】  
木村 泰子 氏

木村先生は、2006年に開校した大阪市立大空小学校初代校長として9年間務められ、「みんながつくるみんなの学校」を合い言葉に、すべての子どもを各方面からみつめ、全教職員のチーム力で「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことに情熱を注がれました。現在は、全国各地で講演活動をされています。

藤沢市教育文化センター 教育文化講演会  
どの子ども安心していられる学校づくり  
～保護者・地域・教職員、「大人のチーム力」で学校をつくる～

いま、子どもを取り巻く環境は、学校においても、家庭・地域においても「人に迷惑をかけてはいけない」という声かけのもと、失敗することも、やり直しをすることもできないなんてことはありませんか。

「迷惑な子」なんて一人もいません。子どもの声を聞きながら、「大人のチーム力」でどの子ども安心していられる学校、そして、家庭・地域になるためにできることについてご講演いただけます。

と き 8月25日(月) 14:00～16:00  
(入場無料 手話通訳有)  
ところ Fブレイス(藤沢市藤沢市民センター・労働会館等複合施設)ホール  
定 員 300人 ※定員になり次第申込みは終了させていただきます。  
申込方法 二次元コードもしくは電話  
申込み 7月15日(火)～25日(金)  
申込フォーム(二次元コード)より  
電話 Tel (50) 8300  
受付 平日 8:30～17:00



【市で開催される教育文化講演会のお知らせ】